

パラスポーツの国際大会及び国内大会の開催結果について

1 要旨・目的

10月、11月に県内で開催されたパラスポーツの国際大会等の結果について報告する。

県では、これらの大会を契機に、障害の有無にかかわらず、だれもが参画し、楽しめるパラスポーツの魅力を県民に広く伝え、多様性が尊重される活力ある共生社会の実現を目指す。

2 大会概要・結果

(1) 国際大会（2022ハンザクラスワールド）

障がいの有無などに関わらず、同じルールで、誰もが一緒に楽しみながら競い合う「2022ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ」と各国の選考基準を通過したパラアスリートが競い合う世界大会「パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス」が開催された。

瀬戸内、広島港の多島美を舞台に、熱戦が繰り広げられ、誰もが共に楽しめるインクルーシブスポーツを通じた国際交流の輪が広がった。

ア 日 程 令和4年10月20日（木）～23日（日）

イ 会 場 広島観音マリーナ（レース海面 広島観音沖）

ウ 主 催 ワールドセーリング、公益財団法人日本セーリング連盟、
国際ハンザクラス協会、日本ハンザクラス協会

エ 運営主体 2022ハンザクラスワールド実行委員会、
公益財団法人広島県セーリング連盟

オ 参加国数 13か国

カ 参加人数 選手／114名、サポーター・ボランティア等／約200名



(2) 国内大会（スペシャルオリンピックス2022広島）

知的障害のあるアスリートが、日頃のトレーニングの成果を発揮するため、広島に集まり競い合う大会が、中四国で初めて開催された。この大会は、2023年にドイツ（ベルリン）で開催される世界大会の日本選手団選考も兼ねて行われた。コーチ・スタッフ、ボランティアそして観客が一体となってアスリートの活躍を応援し、歓び合う大会になるとともに、スポーツを通じた笑顔あふれる交流の場となった。

ア 日 程	令和4年11月4日（金）～6日（日）
イ 会 場	県内各所（広島市，呉市，三原市，北広島町）
ウ 主 催	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
エ 運営主体	2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・ 広島 大会実行委員会
オ 参加人数	選手／約800人，役員・コーチ／約500人， 大会役員・審判／約700人，ボランティア／延べ4,300人 観客／延べ10,400人



(写真提供：スペシャルオリンピックス日本)

3 予算（単県）

(1) 国際大会（2022ハンザクラスワールド）

3,500千円

(2) 国内大会（スペシャルオリンピックス2022広島）

2,889千円

4 その他

- (1) 国際大会（2022ハンザクラスワールド）

<https://www.hansaclub-hiroshima.com>

- (2) 国内大会（スペシャルオリンピックス2022広島）

<https://sonippon.wixsite.com/so-2022-hiroshima>